

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 使徒 20:35 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 308番 実れる田の面(も)は
- *交読文 …… 43番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 178番 恵みふかきみ神よ
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:朴執事 天声:小林伝道師
- 賛美 …… 71番 みなささげまつり
- メッセージ …… アメリカ史上一番の富豪から学ぶ祝福のコツ(マラキ 3:10-12)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 …… 72番 神は約束のとおり
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

与えよ。そうすれば、自分にも与えられるであろう。人々はおし入れ、ゆすり入れ、あふれ出るまでに量をよくして、____のふところに入れてくれるであろう。____の量るその量りで、自分にも量りかえされるであろうから。(ルカ 6:38)

わたしの宮に食物のあるように、十分の一全部をわたしの倉に携えてきなさい。これをもってわたしを試み、わたしが天の窓を開いて、あふるる恵みを、____に注ぐか否かを見なさいと、万軍の主は言われる。わたしは食い滅ぼす者を、____のために抑えて、____の地の産物を、滅ぼさないようにしよう。また、____のぶどうの木が、その熟する前に、その実を畑に落す事のないようにしようと、万軍の主は言われる。こうして万国の人は、____を祝福された者と唱えるであろう。____は楽しい地となるからであると、万軍の主は言われる。(マラキ 3:10-12)

わたしは、____も、このように働いて、弱い者を助けなければならない事、また『受けるよりは与える方が、さいわいである』と言われた主イエスの言葉を記憶しているべきことを、万事について教え示したのである。(使徒 20:35)

神の国を建て上げるために、世界的に用いられる「時代の主人公」となるには、どうすればいいか。最近、ヨセフやクロス王から学んだが、今回、石油ビジネスを通じてアメリカ史上一番の富豪となったジョン・ロックフェラーから学びたい。彼の資産は、現在の価値に換算すると約 28 兆円以上にもなると推定される(ビル・ゲイツは約 6 兆)。ロックフェラー財閥や、彼の一族については、今日、色々言われる所はあるものの、初代のロックフェラーは素晴らしいクリスチャンで、多くの人に恩恵をもたらし、多くの社会貢献をして来た。彼の父は真面目に働かず、いつも遊び歩いて、何か一山当てようとする人だったが、母イライザは信仰熱心なクリスチャンで、夫がほぼ不在の家を守るために奮闘した。彼はその母から、大いに影響を受けた。彼の経済が祝福された秘訣は、ずばり、母から受け継がれた「信仰」であり、特に、「十分の一献金」を捧げる事にあった。母は、幼き日のロックフェラーに、「3 つの約束」を守るよう教えていた。すなわち、第 1 に仕一献金をささげる事。第 2 に教会で一番前の席に着いて礼拝を捧げる事。第 3 は教会の指示に従い、牧師を悲しませない事。彼は幼い時から、それら全てを忠実に守った。彼は若い時から収支を帳簿につける習慣を身に付けており、事業が祝福された後には、40 名もの職員を雇って収入と献金額を正確に計算させた。それ以外も、彼は、多大な寄付をしていたが、彼自身は儉約を努め、質素な生活をしていた。母は、息子が世界で最も裕福な男になるのを見てから、天に召されるが、彼女は、彼の信仰をまだ心配していたため、死ぬ前に、十の戒めを彼に残した。すなわち、1、神を父以上に敬う。2、神を尊重するごとく牧師を尊重する。3、常に右ポケットを、十分の一を入れるために確保し、主日に捧げる。4、誰とも敵対しない。5、礼拝に出席する時、最前列に座る。6、毎朝その日の目標を決定し、祈りを捧げる。7、寝る前にその日を振り返って祈る。8、人を助ける事ができるなら、助けるために最善を尽くす。9、主日礼拝を、自分の所属する教会で捧げる。10、朝目覚めたら、まず神の言葉・聖書を読む。これらが彼の家訓となり、生涯、忠実に守った。彼の息子は、1962 年、タイム誌のインタビューで言った。「ロックフェラー家の富は、神のものであり、私たちはただ、(神の)執事です。」

彼はそうにしたため、経済的感覚が祝福され、20 歳で事業を立ち上げた時、これから旬のビジネスは石油である、と早期に見抜いた。彼は、周囲の反対を押し切って石油関連事業に進進して行った結果、大成功を収めた。彼は、競合他社を買収し、市場の 90% 以上を占有するに至ったが、あらゆる方面から非難され、彼の会社は 30 以上の会社に分割されてしまった。しかし皮肉にも、それでかえって株価は急騰し、彼の資産は、5 倍以上に増え、彼はさらに富む者となった。祝福の法則に立つ者は、みな、こうなのだ。そんな中、彼は 55 歳の時、病に侵され、余命 1 年と宣告されてしまう。彼は必死に祈り、もし助かるなら、これから後の人生は「莫大な財産を貯める事」ではなく、「莫大な財産を使う事」を使命とした。結果、彼は 98 歳まで生き、安らかに息を引き取った。彼は 90 歳を過ぎても、毎日ゴルフをする程、健康だった。彼の病後の後半生は、世界一の慈善事業家となり、数々の事業を立ち上げた。彼は数千もの教会を建設し、シカゴ大学をはじめ、全米 24 の総合大学を創立・支援し、ニューヨークに様々な文化施設を建てた。

結局重要なのは、どれだけ貯めるか、という事より、与えられたものをどれだけ有意義に用いるか、である。御言葉に従って、神の御心を行い、泥棒や虫、さびなどの手が届かない、天に宝を積み上げる事である。せっかく稼いでも、有意義に使わないまま、死んでしまうなら、稼いだ事自体、無駄な労苦となってしまう。また、たとえ沢山稼いで、自由にお金を使えた、としても、その使い道が、自分や家族や子孫を悪い方へと導く結果になってしまったり、また、世の中を悪くする方向へと導いてしまったとしたなら、ただこの世に「害悪」をもたらしただけで、むしろ稼がないほうがまだ良かった、という事になってしまう。(ルカ 12:16-21)

結局、最高の投資方法とは、まず、神様に十分の一を捧げ、神の国を前進させる事。そうするなら、神様は祝福するために天の窓を開き、資産を蝕む”いなご”を叱り、投資した先が、不作とならないように守り、そうして主は祝福し、全ての国民は「幸せ者」と言うようになり、その地は喜びの地となる(マラキ 3:10-12)。

また、大いに人に与え、施しをする事である。そうするなら、押し入れ揺すり入れして溢れるばかりに与えられる(ルカ 6:38)。ヨセフやクロス、ロックフェラーのように、与えられたものを神の国のために捧げ、時代の主人公として、大いに用いられて行く皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

